

RAE et al. (2011)  
*Nueva gramática BÁSICA de la lengua española*  
Capítulo 3 El número

TADESKA@関西学院大学梅田キャンパス

2015年6月7日 川口正通

### **数の概念**

- 数は名詞、代名詞、形容詞、限定詞、動詞が持つ文法特性
- 単数と複数に分けられる。
- 名詞と代名詞は以下の2つの性質を持つ
  - a) 単一性と複数性の記号である (*Es signo de unidad / pluralidad*)

名詞、代名詞においては、数のマーカーは単一性、複数性の意味内容と一致  
単数形は「1」、複数形は「1より多い」をあらわすのが基本  
その他のカテゴリーでは、数は情報的価値を持たず、単なる一致 (*concordancia*)  
の表現に過ぎない。
  - b) 固有の特性である (*Es rasgo inherente*)

名詞と代名詞は、限定詞、数量詞、形容詞、動詞とともに一致した構造  
(*construcciones concordadas*) を形成する場合、それらに数のマーカーを付与  
Ej.) *todos los lápices amarillos* (複数性を厳密にあらわしているのは *lápices* のみ)

### **形式と意味の関係**

単数形 / 複数形の対立が単一性 / 複数性の意味と一致しない場合がある。

### **不可算名詞**

- 不可算名詞 (連続名詞。 *agua, aire, arena, tierra*) は意味的理由から通常は単数形で用いられる。
- 複数形で用いられる場合は可算名詞となりうる。
- 不可算名詞のまま複数形になる場合、通常は文体上の変異であり、実際の複数化をあらわさない場合が多い  
Ej.) *el agua – las aguas, la tierra castellana – las tierras castellanas* など

### 数と関係しない複数形を持つ可算名詞 (Sustantivos contables con plural indiferente al número)

- 単数形が単一性をあらわす可算名詞の中には、複数形になった場合も単一性の意味で使用されうるものがある。 Ej.) la boda de Camacho – las bodas de Camacho
- それらは複数性の意味で使用されることもある。 Ej.) las bodas de mis dos hermanas
- 儀礼・挨拶の文句にも見られる。 Ej.) Feliz Navidad – Felices Navidades

### 複数形が異なる語彙的意味をあらわす名詞 (Sustantivos con diferente significado léxico)

- 数の変化が語彙的意味の変化を伴う場合がある。  
Ej.) celo – celos, historia – historias, interés – intereses

### 2つの部分から成る事物をあらわす名詞 (Sustantivos de objetos dobles)

- 対称的な2つの部分からなる単一の事物をあらわす名詞においては、そのまとまりを指す場合に単数形と複数形の交替が起こる。 Ej.) alicate – alicates, gafa – gafas, pantalón – pantalones
- これらの名詞の複数形は1つの単位としての解釈と2つ以上の単位としての解釈のいずれも可能であるが、通常は文脈から判断が可能である。

### 2つで1組の事物をあらわす名詞 (Sustantivos duales)

- 複数形の場合に、独立した2つの部分がペアになった事物をあらわす名詞  
Ej.) guantes, orejas, piernas
- このタイプでは、複数形は単数形と同値ではない。

### 本来的に単数の名詞 (Sustantivos con singular inherente o *SINGULARIA TANTUM*)

- 唯一物をあらわすため、通常は単数形で用いられる名詞  
Ej.) canícula, caos, cenit, oeste, sed

## 本来的に複数の名詞 (Sustantivos con plural inherente o PLURALIA TANTUM)

- 複数形でしか使用されない名詞
- 複数形は指示対象の複数性を意味するわけではない。
- 様々な概念領域に属する名詞が含まれる
  - 食べ物 (comestibles, ñoquis, tallarines)
  - 不明確な事物 (bártulos, cachivaches)
  - 金銭 (emolumentos, fianzas)
  - 漠然とした場所 (afueras, aledaños)
  - 断片、残りもの、微細なもの (añicos, escombros)
  - 生物のある部分 (entrañas, fauces)
- 熟語の中であらわれることが多い。 Ej.) artes marciales, a gatas, con miras a, ir de compras

## 複数形形成の規則 (Reglas para la formación del plural)

### 一般的規則 (Reglas generales)

- 単数形にはそれをあらわすマーカーはあらわれないが、一般に複数形は-s または-es という語尾でマークされる。
- ただし、複数形のマーカーがあらわれない語も多く、それらは一致によって単数または複数の区別をしなければならない。

### 母音で終わる語 (Voces terminadas en vocal)

a) 強勢のない母音または (強勢のある) -á, -é, -ó で終わる語、二重母音で終わり、かつ最終音節に強勢がある語

- -s を付加 Ej.) casas, calles, sofás, cafés, bonsáis

b) (強勢のある) -í, -ú で終わる語

- -es または-s を付加。一般に教養語で、特に地名や民族をあらわす語では-es が好まれる。

Ej.) colibríes – colibrís, gurúes – gurús, israelíes – israelís,

- 一部の語 (多くは口語または外来語) では-s のみ Ej.) cañís, gachís, pirulís

### c) 単音節語

- 母音で終わる場合：一般的に-sを付加 (Ej.) fes, pies, tés  
ただし、母音の名称はそれぞれ aes, es, íes, oes, úes  
その他、qの複数形は cus、i griega (yeの方が好まれるが)の複数形は íes griegas  
※yo, no, síの複数形として yos, nos, sísが見られるが、それぞれ yoes, noes, síesが推奨される。  
※民衆語で見られる cacahueses または cacahués (cacahuates, cacahuetes)、cafeses (cafés)、maníses (manís, maníes)、pieses (pies)などは避けることが推奨される。

### d) -yで終わる名詞

- -esを付加 (Ej.) bueyes, leyes, reyes
- 完全にスペイン語化していない一部の語は除く (Ej.) jerséis

## 子音で終わる語 (Voces terminadas en consonante)

### a) -l, -n, -r, -d, -z, -jで終わる名詞

- -esを付加
- 語末から3番目の音節に強勢のある語では、強勢の位置がずれるもの (especímenes, regímenes) や単複同形のもの (los asíndeton, los polisíndeton) がある。ただし、hipérbatonの複数形 hipérbatosは例外

### b) -sまたは-xで終わり、最終音節に強勢がある、または単音節である語

- -esを付加 (Ej.) autobuses, compases, toses, faxes
- 最終音節に強勢がなく、-sまたは-xで終わる語は単複同形 (Ej.) las dosis, los lunes

### c) 上記以外の子音で終わる語

- -sを付加 (Ej.) mamuts, tictacs

## 複合語の複数形 (El plural de los compuestos)

### 語彙的複合語 (Compuestos léxicos)<sup>1</sup>

- 原則として、語彙的複合語では複数形のマーカは 2 つめの構成要素に付加され、単純語と同様の基準が適用される。 Ej.) bocacalles, caraduras, sacacorchos
- より明確な統語構造を有するものであっても、上記の規則が適用される傾向がある。 Ej.) correveidiles, quehaceres

### 句複合語<sup>2</sup> (Compuestos sintagmáticos)

#### a) 2 つの名詞から成るもの

- 2 つの構成要素が分かち書きされているが 1 つの意味的単位をあらわす場合、第一要素のみが複数形になる。 Ej.) años luz, buques escuela, ciudades dormitorio
- ただし、第二要素が形容詞的に使用されている場合は、第二要素も複数形にすることが可能  
Ej.) aviones espía – aviones espías, discos pirata – discos piratas

#### b) 名詞と形容詞から成るもの

- 分かち書きされている場合、一般に両方の要素を複数形にする。 Ej.) boinas verdes, pieles rojas

## 固有名詞の複数形 (El plural de los nombres propios)

### 一般的規則

- 固有名詞はその性質上、複数形を持たない。
- ただし、複数の個人が同じ名前を持つ場合は普通名詞に近づき、通常通り複数形になる。  
Ej.) Aquí viven varias Cármenes.
- 典型例 (代表例) を示す固有名詞に由来する名詞も通常通り複数形になる。 Ej.) unos donjuanes

---

<sup>1</sup> compuestos の定義等については p.58 を参照。

<sup>2</sup> 「句複合語」という用語は、研究者によって定義が異なるようなので注意が必要である。p.58 の説明によると、ここでは複数の語が正書法上、1 語にならずに「分かち書き」されている複合語を指しているようである。

## 敬称

- santo, santa ,doña は通常、複数形になる。
- San, don, fray, sor は変化しない。

## 姓

- 姓は変化しない場合と-s を付加する場合がある。
- -s または-z で終わる場合は変化しない
- 名家の場合は-s を付加することが多い。 Ej.) los Austrias, los Borbones

## 賞・メーカー名

- 賞を指す名詞は、公式の名称をあらわす場合は変化しない (los Premios Goya)。ただし、具体的事物や受賞者を指す場合は複数形になる (los goyas del museo, los nobeles de literatura)。
- メーカー名は、そのメーカー商品を指す場合には普通名詞に近くなる。一般に母音で終わる場合は-s を付加し、子音で終わる場合は変化しない。 Ej.) las Yamahas, los Toyotas, Los Seat

## ラテン語起源の語彙の複数形 (El plural de los latinismos)

- -s, -x, -r で終わるものは変化なし (los campus, los corpus, los códex, los imprimátur)。ただし、時とともに-r で終わるものの中で-es の付加によって複数形になるものが出てきている (magísteres, nomenclátorees)。
  - -m で終わるものおよび-t で終わるものには-s を付加する。 Ej.) réquiems, déficits
  - -us, -um で終わる語の多くは-o の形でスペイン語化しているため、-os で終わる複数形を形成する。 Ej.) auditorios, máximos
  - スペイン語に組み込まれたラテン語の熟語は変化しない。 Ej.) los curriculum vitae, los lapsus linguae
- ※ 2～3 種類の複数形を持つものもある。 Ej.) los páter – los páteres, los ítem – los ítemes – los ítems (下線を付加したものが推奨される)
- ※ 英語の影響で使用される、-a で終わる複数形 (córpora, currícula) は推奨されない。代わりに単複同形 (los corpus) やスペイン語化された形式 (los currículos) が好まれる。

## 外国語からの借用語の複数形 (El plural de los préstamos de otras lenguas)

### 一般的規則

- 原則として、外国語からの借用語はスペイン語の音声および表記に順応しなければならないので、複数形形成の規則も同様にスペイン語のものにしたがう。
- ただし、原語の複数形が残っている事例も存在する。 Ej.) bistecs, coñacs, debuts

### 母音で終わる語

- -s を付加 Ej.) atrezos, baffes
- 子音+*y* で終わる語は、スペイン語では子音+*i* の形に変化しており、したがって複数形は-*is* の形になる。 Ej.) dandi – dandis, panti – pantis
- -*y* が二重母音の 2 つめの要素になっている場合、複数形では-*i* に置き換わる。 Ej.) espray – espráis
- 単数形に 2 種類の形式が存在する語の場合は、複数形は 1 種類しか存在しない場合 (samurái/samuray – samuráis) と、それぞれに対応する複数形が存在する場合がある (póney – poneis, poni - ponis)。

### 子音で終わる語

- -*n*, -*l*, -*r*, -*d*, -*j*, -*z* で終わる語は-*es* を付加 Ej.) bluyines, chándales, córneres etc.
  - -*s*, -*x* で終わる語は、最終音節に強勢がないなら変化しない (los toples, dos réflex) が、最終音節に強勢がある、または単音節の場合は-*es* を付加する (boxes, estreses, faxes)。
  - 上記以外の子音で終わる語には-*s* を付加 Ej.) airbags, argots, chefs
  - 語末から 3 音節目に強勢のある語は変化しない。 Ej.) los mánager, los trávelin
- ※chándales, córners, escáneres などの代わりに chándals, córners, escáners の使用も多く見られるが前者の方が好まれる。また、whisky – whiskys や whiskey – whiskeys よりも güisqui – güisquis の方が推奨される。

※lord の複数形は lores、sándwich の複数形は sándwiches、club の複数形は clubs, clubes とともに可、test の複数形は tests または test

※外国語において複数形である語に由来する借用語でも、スペイン語では通常の複数形を持つものがある。 Ej.) los espaguetis, los talibanes (los espagueti, los talibán は不可)